

隠れた名曲から辿る音楽史

Chapter
15
(最終回)

ピアノ科ベーシックコース主教材『ピアノ・レパートリー1・2』で取り上げている作曲家の作品や生涯、当時の時代背景などをとおして、古今東西の音楽の歴史を紐解いていきます。



『ピアノ・レパートリー 2』P.40

スケッチ ～「8つの小品」より～

作曲：J.シベリウス



大規模な交響曲や交響詩で有名なシベリウスですが、演奏時間の短いピアノのための小品も数多く残しています。

「スケッチ」は、1922年にまとめられたピアノ小品集『8つの小品』の第2曲にあたり、ちょうど交響曲第6番や第7番を手がけていた時期に書かれました。左手と右手で交互に刻む軽快なリズムが特徴で、短くシンプルな構想の中に、シベリウスならではの叙情的な趣きが垣間見える楽曲です。

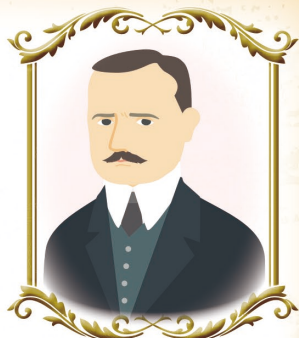
ジャン・シベリウス (1865年-1957年)

後期ロマン派から近現代にかけて活躍した北欧フィンランドの作曲家、ヴァイオリニストです。

ロシア帝国支配下のフィンランドで豊かな自然に囲まれ育ったシベリウスは、おじの影響で音楽に興味を持ち、10歳で初めて作品を書き、ヴァイオリン奏者としても頭角を現わすなど、音楽の才能を開花させます。

1885年、法学を学ぶため大学へ進学しますが、音楽への興味が勝りヘルシンキ音楽院（現：シベリウス音楽院）へ転入。ドイツやオーストリアなどに留学して研鑽を積みました。帰国後は音楽活動のかたわら、生活のために母校で教鞭をとりますが、1897年に政府より助成金が支給されるようになると作曲に専念。『フィンランディア』を筆頭に、彼の生み出す叙情的で愛国心あふれる旋律は、ロシア帝国の支配から逃れようともがくフィンランドの人々に熱狂的な支持を受け、国内の音楽界の中心的存在となりました。その後も母国の自然や伝承、民謡などを題材に、交響曲からピアノ曲まで幅広い作品を手がけ、国際的にも名声を得ます。

60歳以降は表立った活動を停止するものの人気は衰えず、1957年に91歳で亡くなった際には、首都ヘルシンキの大聖堂で国葬が営まれました。彼の代表作の1つ『フィンランディア』は後に歌詞が付けられ、“第2の国歌”として広く歌い継がれるなど、フィンランドが誇る最も偉大な作曲家として、今なお国内外で慕われています。



代表作 交響詩『フィンランディア』／交響曲『第1番』～『第7番』／『カレリア』組曲

シベリウスくんに関く

フィンランド音楽史 ～近現代編～



ボクの生まれ育った北欧の国フィンランドは、現在ではオーロラなどの観光や雑貨・家具のおしゃれなデザインが人気の“平和で豊かな国”というイメージがあるけれど、12～

18世紀はスウェーデン、18世紀以降はロシア帝国と、長い間大国の支配下にあり、国として独立したのは20世紀初頭のことなんだ。

フィンランドには、言語や伝承、民謡などの伝統的な文化と、ヨーロッパから伝わった文化が混在していたのだけれど、音楽はドイツを中心としたヨーロッパに倣ったものだったんだ。

この流れを変えたのがボク、シベリウスさ。ロシア帝国支配下の19世紀半ば頃から国内では徐々に民族意識が高まり、独自の言語であったフィンランド語（当時の公用語はスウェーデン語）を用いた叙事詩『カレワラ』が出版される。1892年、留学から戻ったボクは、これを題材に交響曲『クレルヴォ』を作曲。それまでのヨーロッパを模倣した音楽とは違う独自性を持ったこの作品は、フィン

ランド音楽史を塗り変えるものとされたよ。さらにロシア帝国の圧政が厳しくなる中、ボクは交響詩『フィンランディア』を発表した。元は『フィンランドは目覚める』という曲名で、音楽を通じてロシア帝国からの独立を後押ししたんだ。そしてボクを筆頭に、O.メリカントやS.パルムグレン、L.マデトヤなどの活躍によって、フィンランドの民族文化を描いた音楽は最盛期を迎える。

第一次世界大戦末期の1917年、ロシア革命によってロシア帝政が終わると、ついにフィンランドは独立を果たすよ。その後、内戦や第二次世界大戦により国内の音楽が停滞する時期はあったものの、20世紀半ばには活気を取り戻し、“フィンランドらしさ”と現代的な要素を併せ持った音楽家たちの活躍によって、フィンランド音楽は目覚ましい発展を遂げる。現在では独特の雰囲気を持つポップスやロック、ヘヴィメタルが人気を博し、世界最大級の音楽フェスティバルも開催されるなど、世界有数の音楽好きの国となったよ。

オスカル・メリカント (1868-1924)

作曲や演奏など、シベリウスと並びフィンランド国内で絶大な人気を誇った多才な音楽家。

セルム・パルムグレン (1878-1951)

ピアノ曲や声楽曲で功績を残した作曲家。ピアニストとしても国際的な名声を得る。

レーヴィ・マデトヤ (1887-1947)

シベリウスに師事し、彼に次ぐ優れた作曲家として交響曲やオペラで大成功を収める。

ピアノ・レパートリー 1・2 ～時代様式、スタイルを学ぶ～

「ピアノ・スケッチ」を修了程度のお子さまから大人の初心者の方までを対象に、著名作曲家の作品を中心として、四期（バロック、古典、ロマン、近現代）それぞれの時代様式の特徴がよく表われている楽曲を集めたテキストです。



ピアノ・レパートリー 1

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-114
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 5～2級
- 収録曲：全15曲



ピアノ・レパートリー 2

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-115
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 3～2級
- 収録曲：全12曲

対応SMFミュージックデータ [1巻：6曲セット／2巻：4曲セット] 定価：各800円+税
『ローランド ネットワーク サービス』会員専用ページにてダウンロード購入いただけます。